



**アース製薬**

# アース製薬の健康経営®について

---

従業員と家族の健康を推進する委員会

2023/10/2

# トップの健康経営に対するメッセージ



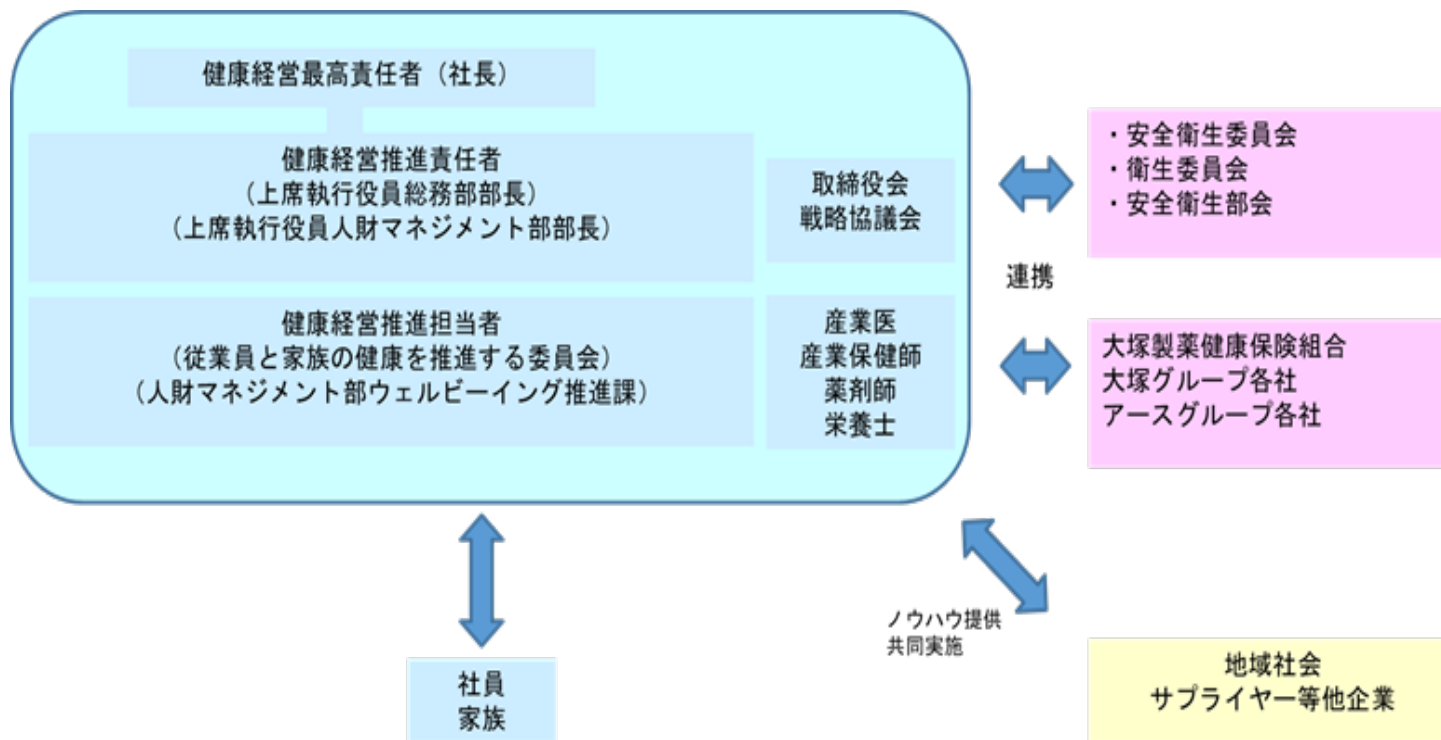
## 従業員が健康でなければ、企業に未来はない

人生100年時代、「寿命が100歳前後まで、今後伸びていくにあたり、国・組織・個人がライフコースの見直し」を迫られています。高齢化社会になり、少子化が進み、結果として労働生産人口が減少するという予測です。アース製薬の未来を考えたときに、従業員とその家族が1日でも長く健康でいていただくためには今後何が必要かを考え、「健康経営」への取り組みを開始しました。組織・個人がより良い未来を築けるように、共に取り組みを進めております。

代表取締役社長CEO

川端 克宜

# アース製薬の健康管理体制



- 代表取締役社長を最高責任者とし、拠点責任者および推進者、健康経営及び産業保健活動を担う委員会、産業医と保健師が参加する衛生委員会など全社一体となって従業員及びその家族の健康を維持・増進する取り組みを推進しています。
- 健康経営の更なる推進を目指し、経営層との連携強化や従業員の主体的な健康増進への取り組みを喚起しています。
- 2022年10月には管理本部 人財マネジメント部にウェルビーイング推進課を新設。従業員が心身・社会的に健康な状態を継続し輝いて働き続けることができるよう、更なるWell-beingを推進します。

# 健康経営全体のKPIと健康課題への目標



KPI	2021年度	2022年度	2025年度 目標
定期健康診断 有所見率	33.9% (BMI高値含め51.0%)	34.5% (BMI高値含め42.7%)	30% ※BMI高値含めず
プレゼンティーズムによる生産性損失割合	17.5%	19.2%	16%

## 目標 ①ヘルスリテラシー向上のため各種セミナーや情報発信の実施

- ・目標値：対象者は全従業員とし、アーカイブ視聴含め参加率80%以上
- ・参加者への理解度調査を行う

## ②健康知識の定着を図り、各自のセルフケア行動の強化を支援

- ・目標値：健康調査での健康状態が「とても不安」「不安」と回答する従業員比率を1年に1%減少させる  
(実績：2021年度19.3%、2022年度20% ➡ 目標：2025年 15%以下)

## ③社員の喫煙状況の改善

- ・目標値：喫煙者比率を1年に1%減少させる  
(実績：2021年度22.2%、2022年度21.1% ➡ 2025年目標 17%以下、2030年までに12%以下)

【KPI、目標設定の根拠】  
目標値は同業他社やグループ  
企業平均値、各省庁が掲げて  
いる目標値等を参考に設定

# 現状の健康課題の把握と対策

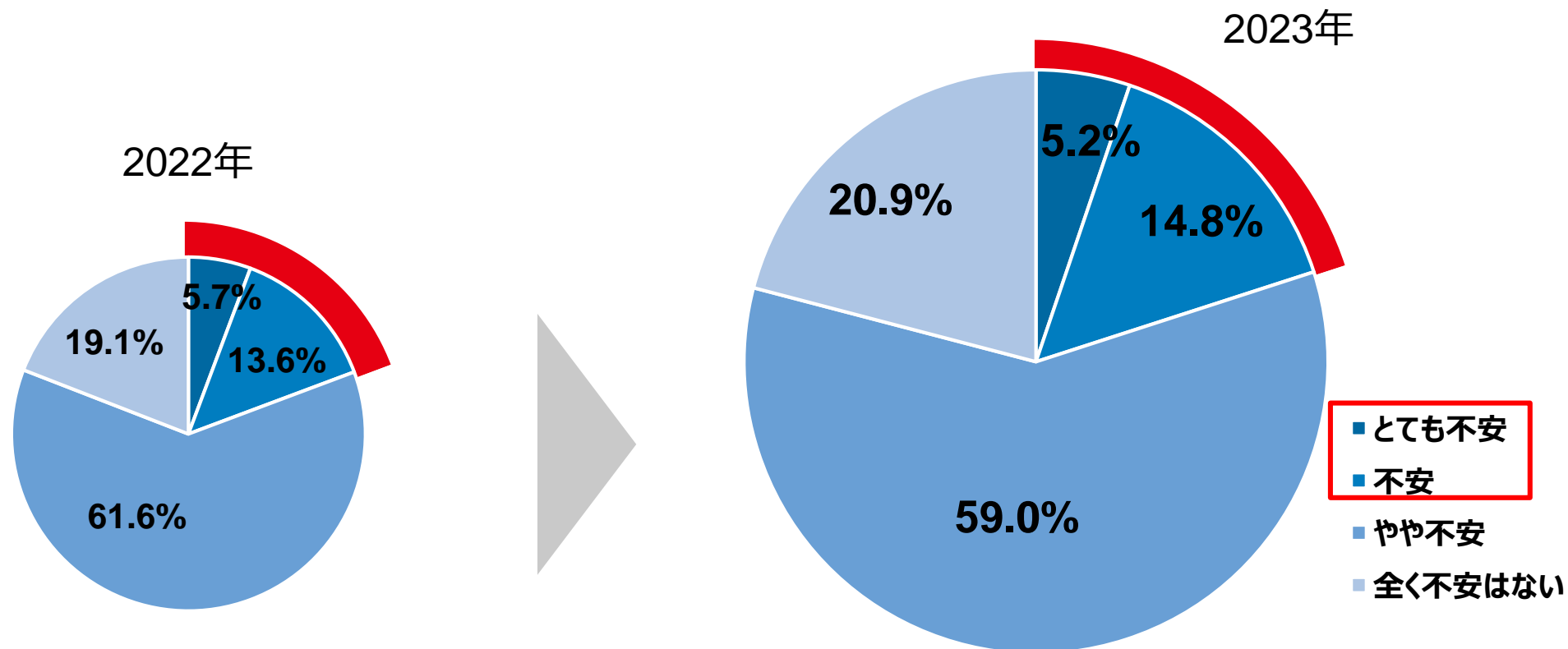


- ・従業員**の健康課題を把握するため、健康調査を毎年実施し、対応施策を実施。**
- ・**当社の現状として、健康関連指標について全国平均値や各省庁が掲げている目標値に達していない項目があるため、健康調査結果や実際の従業員の声からも課題や改善の必要がある項目やテーマを抽出の上、実践。**

# 健康調査の実施

調査対象	アース製薬の全社員 (取締役、監査役、顧問、退職者、短期アルバイトを除く)
調査項目	<ul style="list-style-type: none"><li>・健康上の問題、不安、日常行動</li><li>・プレゼンティーイズム、アブセンティーイズムによる生産性の低下度合い</li><li>・健康診断（人間ドック）の検査結果を踏まえての行動</li><li>・喫煙状況</li><li>・被扶養者の健診受診について</li><li>・M3PSP認知状況</li></ul>
調査手法	Webアンケート
回答率	全従業員の96.4%
調査期間	2023年4月17日～4月28日

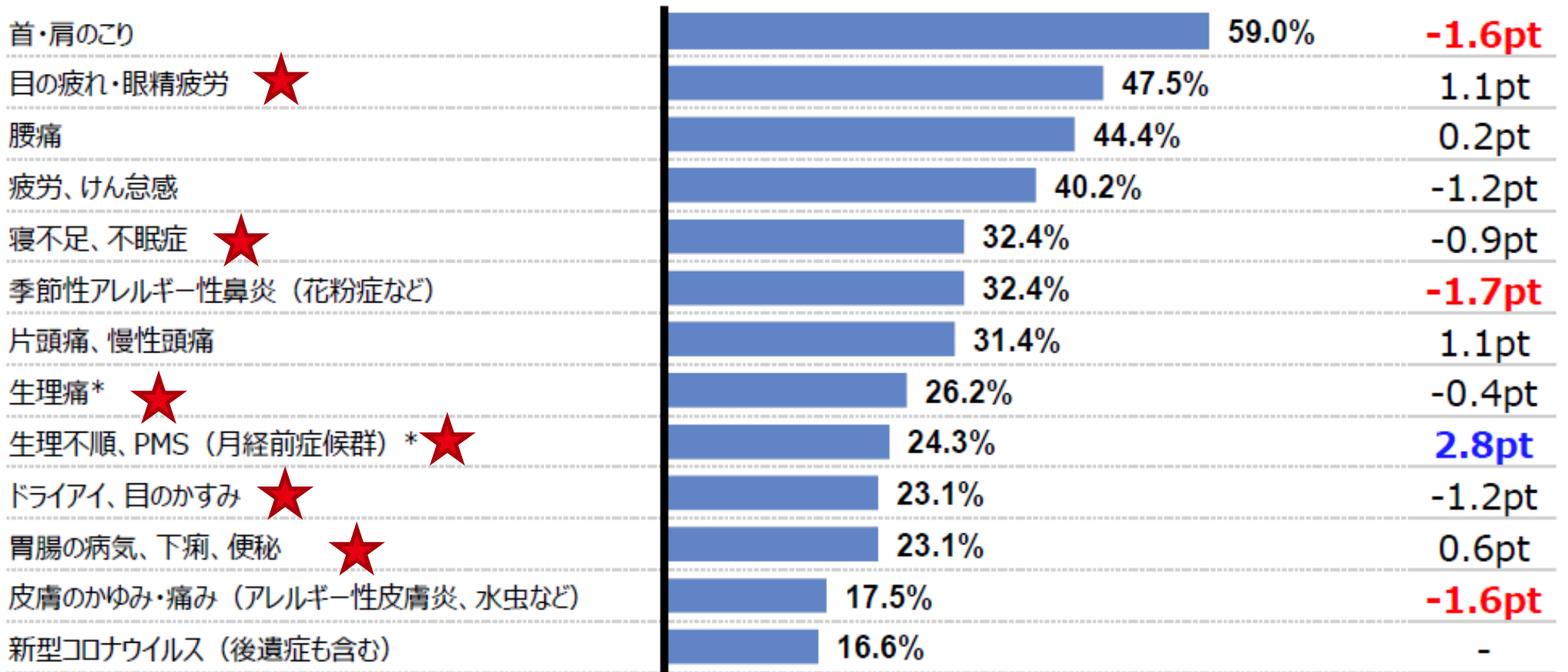
# 自身の健康状態に対する不安状況



- 健康に不安がある（「とても不安」「不安」と回答） 19.3% ▶ 20%  
➡ セルフケアに繋がられるような情報を提供している  
次年度は不安の詳細を聴取予定。より効果的な施策を検討予定

# 健康課題

## ◆ 健康上問題があった項目の割合(上位)



\*自身の性別を女性と回答した人に対する割合

「首肩のこり」「腰痛」「疲労、倦怠感」「頭痛」「アレルギー性鼻炎」等については国民生活基礎調査でも上位項目であるため、★項目は特に当社の特徴とも言えると考えています。



# プレゼンティーズムによる生産性損失割合

健康上の問題があった人の割合

プレゼンティーズムによる生産性損失割合：合計17.51%→**19.16%**（今年）

項目	割合	ポイント	健康上の問題があった人の割合
首・肩のこり	2.45%	(0.22pt)	59.0%
疲労、けん怠感	2.10%	(0.05pt)	40.2%
目の疲れ・眼精疲労	2.06%	(0.21pt)	47.5%
腰痛	1.72%	(0.11pt)	44.4%
寝不足、不眠症	1.66%	(0.04pt)	32.4%
生理痛	1.28%	(0.21pt)	26.2%**
生理不順、PMS（月経前症候群）	1.15%	(0.18pt)	24.3%**
片頭痛、慢性頭痛	1.14%	(0.05pt)	31.4%
季節性アレルギー性鼻炎（花粉症など）	1.09%	(0.27pt)	32.4%
ドライアイ、目のかすみ	0.99%	-(0.04pt)	23.1%
うつ病、メンタル不調	0.70%	(0.06pt)	9.3%
胃腸の病気、下痢、便秘	0.62%	(0.04pt)	23.1%
関節や手足の痛み・しびれ	0.50%	(0.04pt)	13.0%

上位(0.5%以上)項目

・昨年と比べ+1.65pt増加している。(2021年と同等程度) 主な要因は下記

- ① 「首・肩こり」「目の疲れ」「倦怠感」などの身体的な慢性疲労・疾患
- ② 季節性・通年性のアレルギー性鼻炎
- ③ 女性の健康関連（生理痛・PMS等）

\*\*自身の性別を女性と回答した人に対する割合

# アブセンティーズムによる生産性損失割合



※ アンケート調査のみでの結果

アブセンティーズムによる生産性損失割合 : 0.33% → **0.40%** (今年)

欠勤者割合  
(1日以上)

欠勤者あたり  
平均欠勤日数 (日)

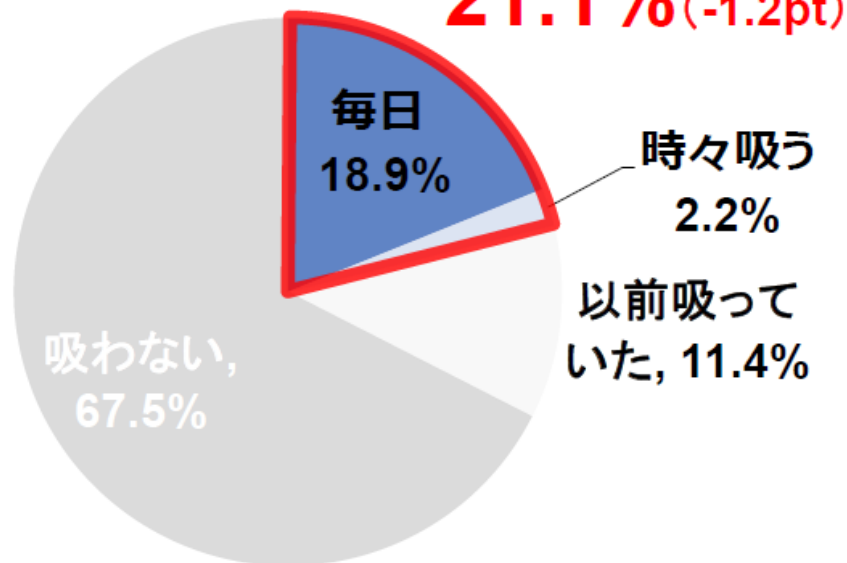
			欠勤者割合 (1日以上)	欠勤者あたり 平均欠勤日数 (日)
新型コロナウイルス (後遺症も含む)	0.28%	-	13.1%	5.5
生理痛	0.06%	(0.021pt)	6.6%	2.5
風邪	0.04%	(0.010pt)	2.7%	2.1
腰痛	0.04%	(0.006pt)	3.4%	3.0
生理不順、PMS (月経前症候群)	0.03%	(0.007pt)	5.5%	2.7
その他 (不調の状態、疾患名を具体的に)	0.03%	(0.015pt)	3.3%	3.0
片頭痛、慢性頭痛	0.03%	-(0.001pt)	2.9%	2.3
疲労、けん怠感	0.03%	(0.006pt)	3.1%	2.7
うつ病、メンタル不調	0.03%	(0.002pt)	3.4%	3.3
胃腸の病気、下痢、便秘	0.02%	-(0.023pt)	2.3%	1.6
首・肩のこり	0.02%	(0.012pt)	1.4%	3.1

上位(0.02%以上)項目

# 喫煙習慣

n=1418

Q16 : 喫煙状況



平均本数/日

**17.2本 (+1.4本)**

Q17 : 本数	n数	%
1日に40本以上	1	0.3%
1日に30本以上	20	6.7%
1日に20本以上	78	26.1%
1日に10本以上	148	49.5%
1日に1本以上	43	14.4%
それ以下の頻度	9	3.0%

Q18 : 禁煙意向	n数	%	vs2022
1年以内に禁煙をしたいと思っている	30	10.0%	-0.8pt
5年以内に禁煙をしたいと思っている	15	5.0%	0.5pt
時期はわからないが、禁煙をしたいと思っている	104	34.8%	-1.0pt
禁煙はしたくないが、本数を減らしたいと思っている	81	27.1%	-3.3pt
禁煙や本数を減らしたいとは思わない	69	23.1%	4.5pt

# 当社の健康課題について

- 首肩のこりや腰痛、眼の疲れなど身体的な愁訴、季節性・通年性のアレルギー性鼻炎にて問題を感じている従業員が多い
  - 不眠や寝不足など睡眠に関する問題を感じている従業員が一定数存在する
  - 女性特有の症状に対して問題を感じている従業員が多い
- \* 福利厚生医療検索サービスにて検索数が最も多い事項は、月経や更年期・妊娠の症状についてである
- 喫煙率は依然として高いものの微減

上記は毎年同様の傾向がみられている

➡課題改善に対応するための健康施策を実施

# 健康施策の実施（2022年度実績）



参加人数

	4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月
セミナー イベント	ストレッチ セミナー <b>205名</b>	ウォーキング イベント <b>198名</b> 禁煙プログラ ムの実施	禁煙 ウェビナー <b>507名</b> メンタルミニ ウェビナー (セルフケア) <b>42名</b>	女性の健康 支援セミナー <b>606名</b>	がん対策 セミナー <b>99名</b>	花粉症 対策セミナー <b>60名</b> 頭痛対策 セミナー <b>58名</b>
衛生講話 情報発信 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>食について (メタボ、栄養管理)</li> <li>おすすめの がん検診項目 を案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な 入浴法に ついて</li> <li>睡眠について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被扶養者 向け： 健診 二次検査推奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>60歳以上の 社員向け： 転倒リスク評価 体調確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークライフ バランス</li> <li>適量飲酒に ついて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動不足 のストレスケア</li> <li>食について (栄養)</li> </ul>

# 健康投資施策の取り組み状況に関する実績値・指標

- ・定期健康診断受診率：2022年度100% 2021年度100% 2020年度100%
- ・定期健康診断結果 アース基準「レッドガード」「イエローカード」対象者（要精密検査～要治療レベル）  
受診勧奨率 2022年度 100% 2021年度100%  
カード対象者の再検査受診率 2022年度78.4% 2021年度 81.2% 2020年度32%
- ・プレゼンティーズムによる年間労働生産性損失割合：  
2022年度19.16% 2021年度17.51% 2020年度 19.4%
- ・アブセンティーズムによる年間労働生産性損失割合：  
2022年度0.40% 2021年度0.33% 2020年度 0.42%
- ・ワークエンゲージメント（自社独自の従業員満足度調査に付随して「いきいきと活力を得て自主的で前向きなエネルギーで仕事に取り組んでいるかについて5段階（0=全くない～5=いつも感じる）で測定」  
2022年度 3.48点 2021年度3.46点 2020年度 3.46点
- ・ストレスチェック高ストレス該当者割合：2022年度12.9% 2021年度15%
- ・喫煙率：2022年度21.1% 2021年度22.2% 2020年度23.5% ← 2018年度27.9%

# その他の取り組み

- **特定保健指導の就業時間実施認定：**  
特定保健指導の実施率が低い(約35%)ため、参加者増加を目指し設定
- **特別休暇要件拡充：**  
ファミリーライフサポート休暇（特別休暇/年5日）取得要件に、  
「更年期障害(男女問わず)治療での受診」「不妊治療での受診」「月経関連の不調」を追加
- **被扶養者の健康へのアプローチ：**  
受診や再検査をお勧めするリーフレットを作成し、適宜案内
- **禁煙施策：**  
喫煙者について行動変容ステージを調査、室内喫煙所を撤廃  
➡ 近年中に敷地内喫煙所完全撤廃を目指す
- **朝食欠食対策：**社内カフェに管理栄養士監修の軽食ランチを設置
- **健康アプリ：**  
社用スマートフォンに、「月経管理アプリ」「睡眠管理アプリ」「栄養管理アプリ」  
「運動管理アプリ」を配信。セルフケア行動の支援をおこなう
- **育児、介護、傷病との両立支援：**  
ファミリーライフサポート休暇の取得要件設定や、実態調査、各種セミナーの実施などの実施

# 健保組合、グループ会社との連携での取り組み

## 【健保組合、大塚グループ各社】

- ・グループ健康管理推進委員会、健康管理担当者会議に参画
- ・グループダイバーシティ担当者会議に参画
- ・健保組合企画のイベント、セミナーへの参加

## 【アースグループ各社】

- ・グループ総務、人事会議にて健康経営の取り組み情報の共有
- ・ウォーキングイベントにグループ対抗で参加し、グループ全体での運動機会向上の取り組みを実施
- ・社内でのインフルエンザ予防接種実施時にグループ社員への接種機会を提供

今後も健保組合、グループ各社と連携し取り組みを推進してまいります。



# サプライチェーンにおいて取引先の取り組みの支援

## 【健康経営のノウハウ提供や共同実施等】

重要なパートナーである仕入先と共に、健康経営を推進。

趣旨に賛同頂いた4社と、以下の取り組みを実施。

### ＜実施事項＞

・当社ではオフィスワークや在宅勤務での「座りすぎによる健康リスク」（※1日に座っている時間が4時間未満の成人と比べ、1日に11時間以上座っている人は死亡リスクが40%高まること）へ着目し、「オフィスでもできる、ストレッチセミナー」を実施している。各社の健康施策にお役立ていただけるよう共同開催を行った。また当日参加ができない企業へは動画を提供。当社提供の動画を用いてストレッチセミナーを開催いただいた。

・取引先へ来訪し、健康経営についての講義やミーティングを実施。推進のメリットや実施ノウハウの提供を行った。

- ・株式会社ダイソー
- ・株式会社丸一
- ・ミナトパックス株式会社
- ・東洋製罐株式会社

地球を、キモチいい家に。



**EARTH**  
Act For Life